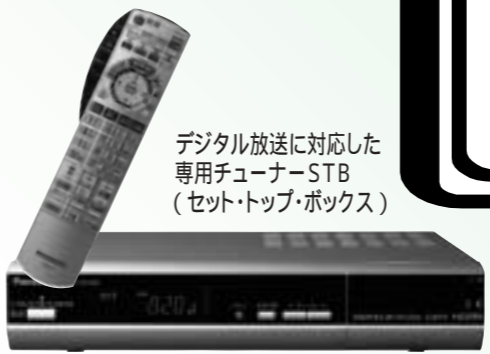


加東市ケーブルテレビ 4月から 市内全域に放送開始!

平成19年から工事を進めていました東条地域のケーブルテレビ工事が完了し、加東市全域でケーブルテレビサービスを開始します。4月から加東ケーブルビジョン(KCV)の愛称で、新しいコミュニケーションの輪をお届けします。



デジタル放送に対応した専用チューナー-STB (セット・トップ・ボックス)

情報のまち加東市

加東市のケーブルテレビは、平成二年九月に、滝野地域において、県下初の公営ケーブルテレビである「滝野ケーブルコミュニケーション(TCC)」として産声を上げたのが始まりでした。当時はNHKの衛星放送が始まるなど、テレビ放送の一つの転換期でもありました。その後、平成十六年四月に社地域で「テレネットやしろ(TNY)」が開局し、ケーブルテレビを利用した在宅健康支援サービスやインターネットサービスなど、テレビと通信が融合した新しい形のサービスが始まりました。

そして、平成十九年、東条地域で最新の「FTH(加入者宅まで光ファイバーを引き込む)方式」による整備を行い、デジタル時代に対応したSTB(セット・トップ・ボックス)を導入、鮮明な画像、クリアな音声でテレビをお楽しみいただくことになりました。加東市のケーブルテレビが、アナログからデジタルの世界へと大きな一歩をスタートしたのです。(社・滝野地域でも、ホームターミナルやコンパターを計画的にSTBに交換していきます)ふるさとのケーブルテレビの歴史は、情報化時代への対応の歴史そのものと言えます。

次の項目は四月から

新しい制度になります

【デジタル放送】

平成二十年度から、市内全域でデジタル放送が始まります。社・滝野地域でデジタル放送を視聴するにはホームターミナル・コンパターをSTBに交換する必要があります。STBに交換された場合は、交換の翌月から使用料が月額五百円アップします。

【インターネットサービス】

月額使用料二千円のまま、次のサービスを受けることができます。(1)滝野地域で、メールアドレスが三ヶ月まで利用可能になります。(2)送受信できる最大メールサイズが五〇MBにアップします。(3)滝野地域でケーブルモデムを無償貸与します。(これまでは購入していたいただいでました)

【IP電話】

東条地域にも利用が拡大されます。社・東条地域内の加入者間同士でIP電話を使用して無料で通話ができます。

【音声告知放送】

東条地域での有線放送は三月末をもって廃止しました。代わって、

映像放送・文字放送・音声告知放送でよりきめ細やかな情報をお伝えします。特に、地区や学校からの身近なお知らせが届きます。

【加入金制度】

加入金の制度が変わります。一戸建て住宅の場合これまで、社地域で、五万円必要であった加入金を、引込工事金三万円、宅内機器分担保金二万円(現在、滝野地域は音声告知機が使用できませんので一万円)に分けました。これにより、宅内機器(STBなど)をすでにお持ちの方が市内に引っ越される場合などは、引込工事金のみで再加入していただくことができます。

【減免制度】

集合住宅の場合社地域での集合住宅への引込工事金の所有者負担分が、一戸あたり二万五千円から滝野、東条地域と同じ一万円になります。集合住宅のみなさまにケーブルテレビにご加入いただきやすくなりました。一万円×入居可能戸数+一律二万円
別途、宅内機器分担保金(集合住宅の入居者負担)二万円が必要ですが、加入金や使用料の減免の制度が変わります。
(1)心身に障害をお持ちの方で独り暮らしの方は免除になります。(これは減額ではありません)
(2)心身に障害をお持ちの方が同居されている世帯は減額されます。(これまで社地域では制度なし)障害の程度により該当しない場合があります。
このほかに、
(3)生活保護世帯は免除になります。
(4)七十歳以上で独り暮らしの方は減額になります。
1~4に該当される方は申請書を提出してください。

【使用料】

年払いや半年払いの制度がなくなりました。使用料は毎月末にお届けの口座から引き落とさせていただきます。また、オプションサービスなどを含む全額を一括して引き落とさせていただきます。



【人の輪効果】井戸端会議が少なくなった近年、地域の連携やコミュニケーションが希薄になりつつあると言われています。自主制作番組は、身近な話題や行事をお届けしています。番組を通してお互いの接点、人と人とのつながりが生まれています。

【盛り上がり効果】

テレビ取材により、行事を主催される方や参加者は、行事の成功に向け、より力を入れていただいているようです。楽しいイベントにしようと創意工夫していただくことで、行事が盛り上がり、地域の活性化、活性化が進んでいます。

【ふるさと再発見】

普段何気なく暮らす地域は、そこに住む方々にとって意外と知られていないことも多いようです。映像を通じて、いつもとは少し違う角度から地域を見直すことで、ふるさとに興味と愛着がわいてきます。

【人材発掘】

意外な方がテレビを通じて新たな才能を見せておられることも多いようです。地域の中で、その才能が大いに発揮される機会が生まれ

【若返り効果】

元気はつらつとしたお年寄



加東市ケーブルテレビ施設放送番組審議会会長 兵庫教育大学 鈴木正敏准教授

これからのケーブルテレビに期待すること

「山よしー技よしー文化よしー」のまちづくりを支えるKCVは合併した三町の住民のみなさまの間に一体感を育むための大切なツールです。特に、各地域で培われた文化や四季折々に行われる行事の数々を、自宅に居ながら目にするのできる自主制作番組が、そのメインです。それだけでなく、在宅健康支援やインターネット、音声告知放送などのサービスは、健康で文化的な私たちの生活を支えるものとして、今後ますます重要となってきました。将来の加東の文化を豊かなものにするためにケーブルテレビはなくてはならないものになるでしょう。

今後は、全地域におけるサービスの統一と充実が図られ、双方向通信などの新技術を取り入れつつ、住民参加型のメディアとして発展することが期待されます。そのためには、視聴者である住民のみなさまのご協力がぜひとも必要です。生まれたてのケーブルテレビ網を立派に育て上げるために、どうか一層のご協力をお願いいたします。



ケーブルテレビの効果を期待できます。

ケーブルテレビの効果

加東市ケーブルテレビの魅力

市内全域をつなぐケーブルテレビ網。それは加東市が誇る大きな財産です。ケーブルテレビ網は、E.T時代に対応した様々なサービスを提供することが可能です。その中でも、加東ケーブルビジョン「KCV」が最も大切にしているサービスが自主制作番組の放送です。

市民のみなさまの交流や活動の様子、安全安心のための防災防犯情報など、日々の暮らしにねがした地域密着型の情報をお届けすることで、コミュニケーションの輪を広げていくことが重要な役割と考えています。

市民が主役

加東ケーブルビジョンは、日々進歩する情報技術への対応を図りながら、これからも常に市民のみなさまが主役の番組づくり、サービス提供に努めます。問い合わせ 地域情報センター 42-83330